

平成13年度  
地域における自殺防止対策に  
関する調査研究

代表者: 上畑 鉄之丞  
(国立公衆衛生院)

## ＜研究テーマ＞

1. 救命救急センターへ搬送された自殺未遂者の治療における精神科医療との連携に関する研究
  
2. 地域における中高年の自殺に関する研究
  - (1) 中小企業勤労者のメンタルヘルスの実態
  - (2) 地方自治体における中高年の自殺予防対策の実態

## ＜研究テーマ1＞

救命救急センターへ搬送された自殺未遂者の治療における精神科医療との連携に関する研究

【目的】救命救急センターに搬送される自殺未遂者の治療と精神科医療との連携状況及び問題点を明らかにする

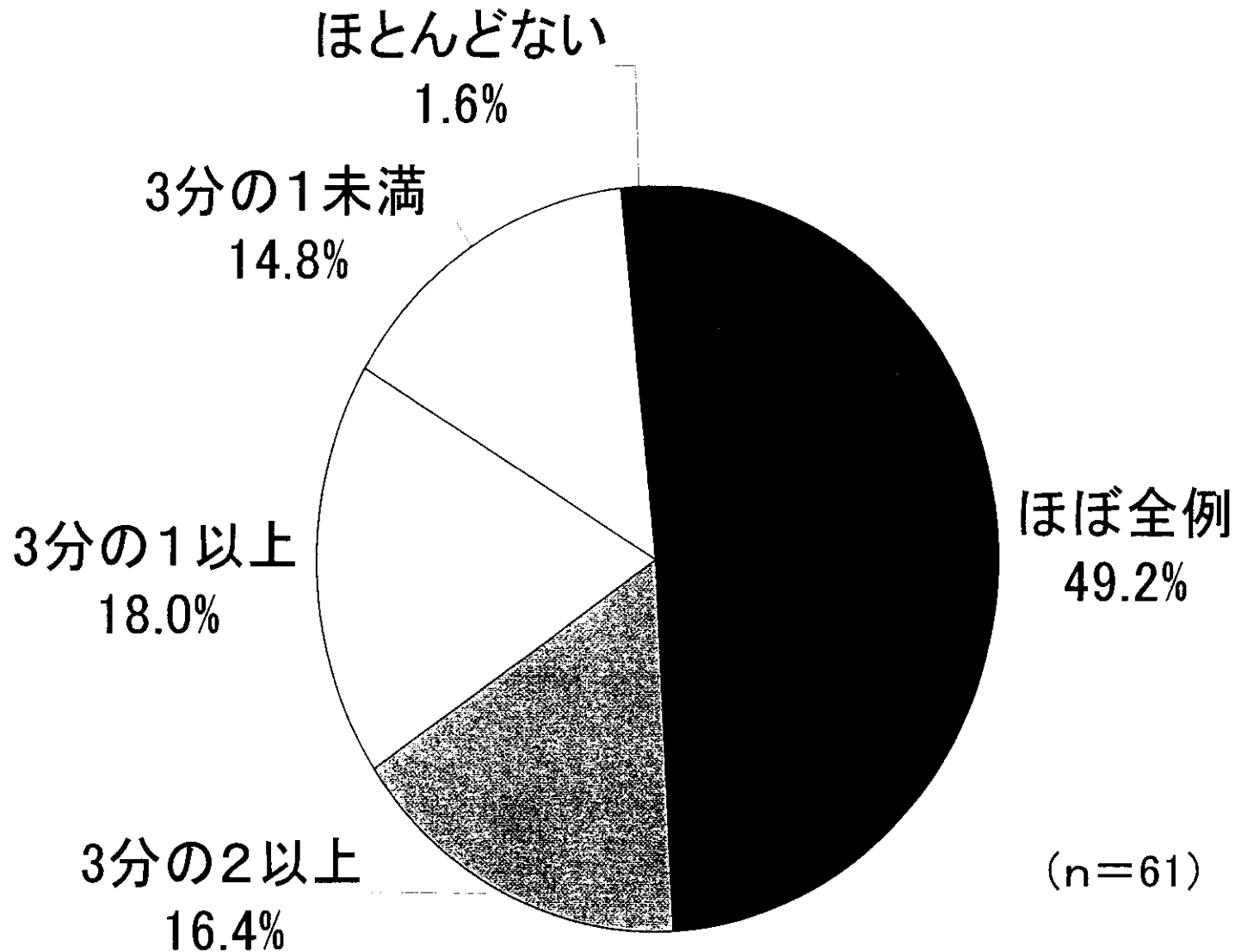
【方法】対象：全国160の救命救急センター

治療に従事する医師等

方法：郵送による自記式調査

回収：62施設（回収率38.8%）

図1 精神科医師が関わる必要がある症例の割合  
(入院患者)



## 図2 精神科医師が関わる必要

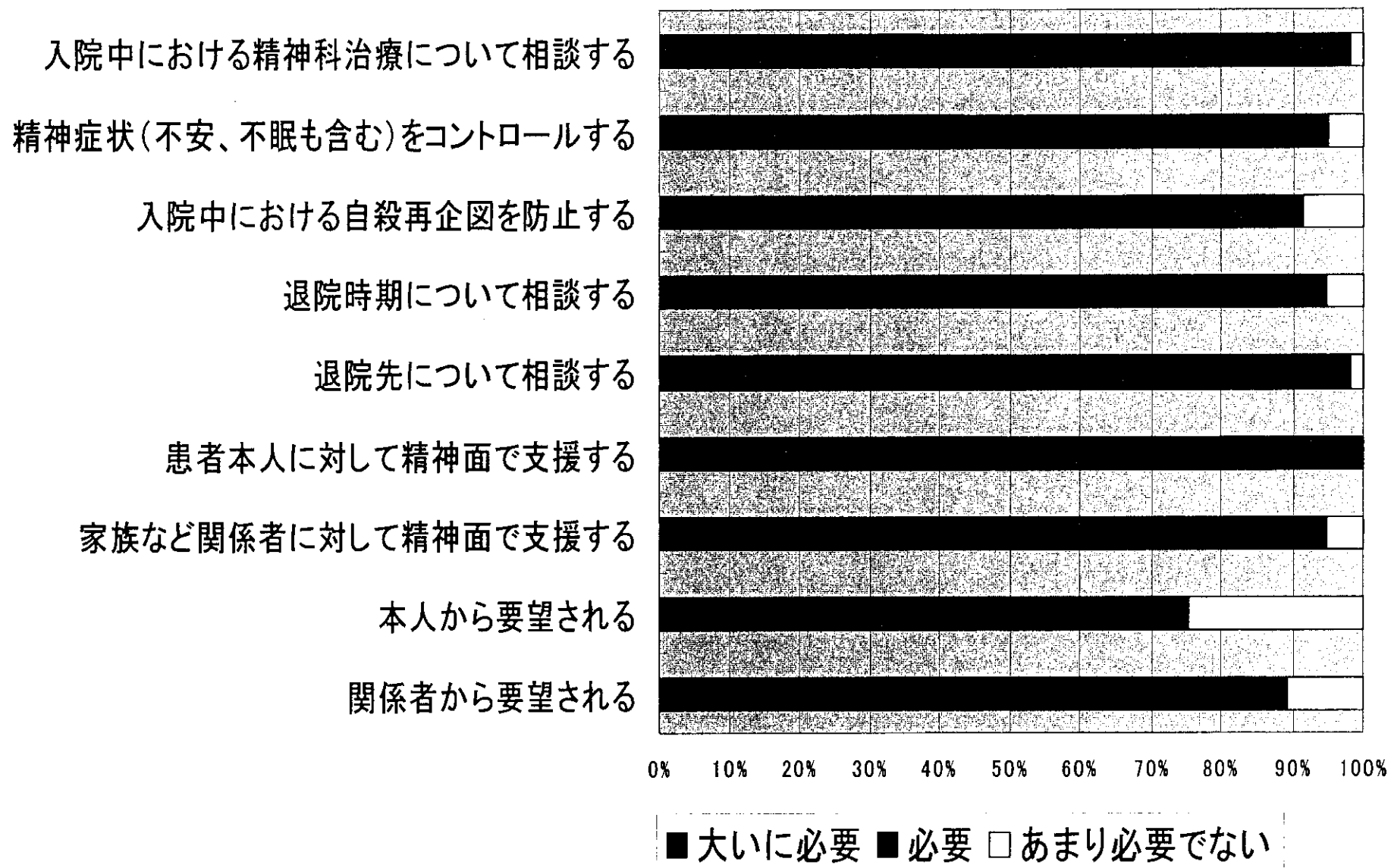


図3 精神科医師による関わりの現状〔診察〕

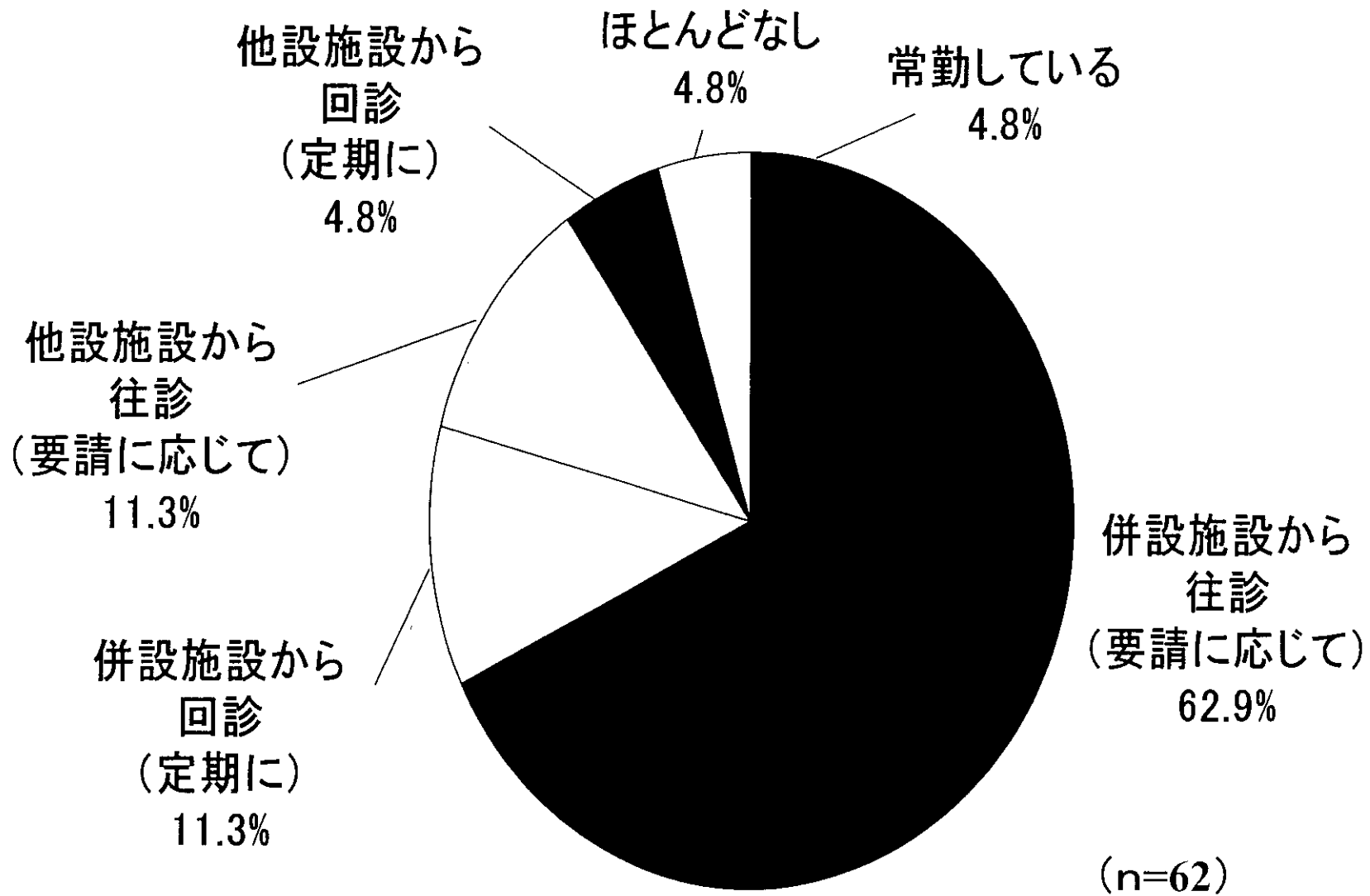


図4 精神科医師による関わりの現状  
〔自殺未遂の症例検討会〕

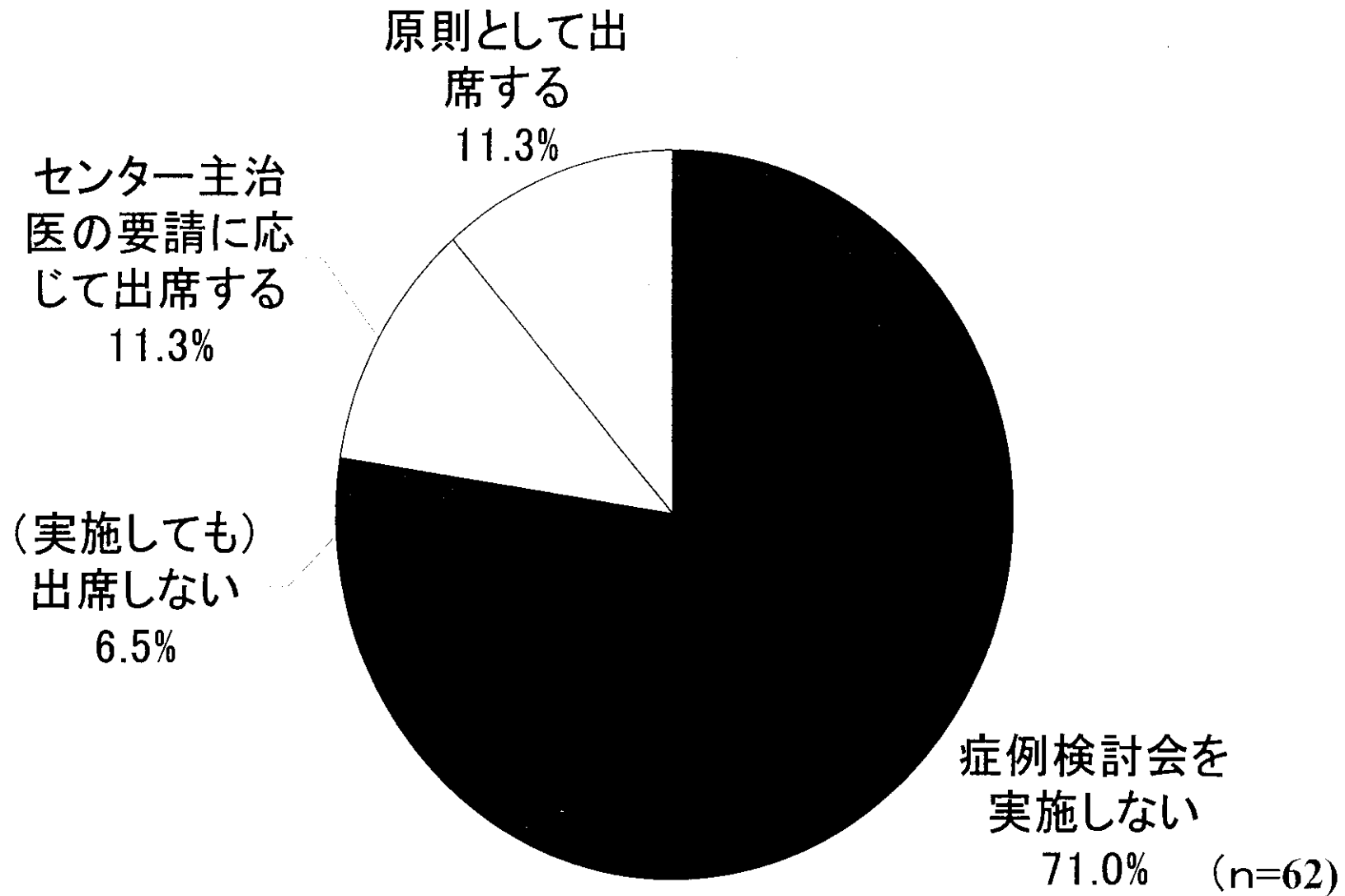
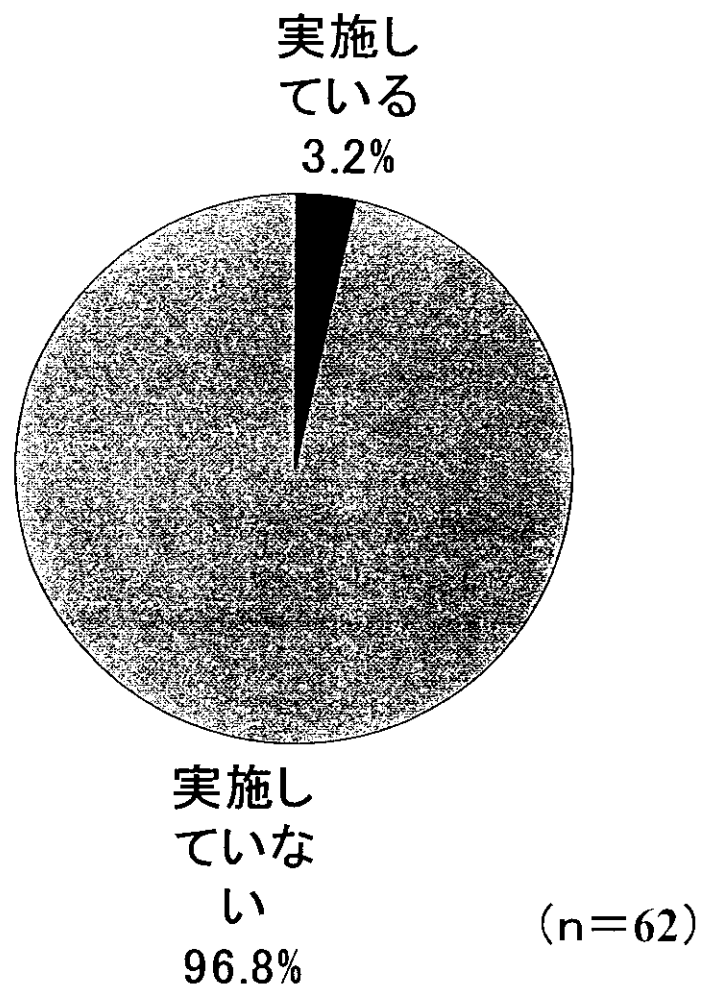


図5 自殺企図者の精神科医療(メンタルヘルス)に関する教育研修の状況(対象:センターの医師)

〔着任時〕



〔通常時〕

